



鶴の便り 鶴の便り

夕鶴の里資料館報

平成25年4月20日
第28号
発行 夕鶴の里

TEL 47-5800

民話会ゆうづるが 新体制になりました！

今年度、民話会ゆうづるに伊藤進司さん、大竹和子さんの二名が新しく加わり、長年民話会ゆうづるで語り部をしてくださったいた菅野由美子さんが退会されました。長い間ありがとうございました。民話会ゆうづるの会長には、民話会発足以来始めての女性会長となる、多勢久美子さんに会長をしていただくことになりました。今年度も夕鶴の里ともども、民話会ゆうづるをよろしくお願いたします。



会長	多勢久美子
副会長	島貫貞子
マネージャー	菅野敏子
会計	多勢まさ
	戸田節子

4月から民話会ゆうづるに加わるお二人です！！



伊藤進司 さん

これからがんばりますので、よろしくお願いたします。



大竹和子 さん

夕鶴の里の近くに住んでおりますので、よろしくお願いたします。

夕鶴の里昔のあそび

シャボン玉で遊ぼう

◆ 日時 ◆ 5月25日(土)
10:00~

◆ 場所 ◆ 夕鶴の里

◆ 参加料 ◆ 無料

◆ 問合せ ◆
夕鶴の里 47-5800



平成二十五年 夕鶴の里職員



職員	館長	高橋大吉
	佐藤優子	
	佐藤久美子	
	山口華織	
	渋谷美沙	

職員五名で一年間がんばりますので、宜しくお願いします。

飯豊山麓の昔話

後書を見たら昭和四十八年八月一日に出版された、私の昔話の初めの頃の一冊で三弥伊書店から出版されたものである。昔話研究資料叢書の十冊目であった。

昔話集が流行していた時代であったから、何か特色がないとつまらないと考えたのは、どなたか知らぬが、解説として、「概況」「探訪記録」「伝承と伝播」「資料としての特質」「昔話と世間話」「方言・訛り」をつけて、「ソノシート」をつけたのも特質だったろうか。祭文語りの道具の錫杖・扇子の写真とたまたま見せてもらった越後警女の教本も写真もあり、小国町大石沢の名語り手、高橋しづさんと川崎みさをさんの写真も入っている。

出来上がったのを早速関敬吾先生に送った。柳田國男先生はすでに亡くなっていたので、関先生にお送りしたものであった。うれしいことに、へ解説がよくなる。叢書の中で最も幅広く解説が書かれている上に、方言のことなど大変読み易くなっていることと誉めていただいた。

そういったことから、昔話とは何か。昔話を楽しむ子どもたち

にどんな意味があるのかを考えるようになった。それまでは昔話を収集して残して置く仕事を中心にしていたが、この本が出来てからは、民俗学で云う、口承文芸の基礎を身につけねばならないと、改めて、『定本柳田國男集』を読み返しながら、昔話のへ伝承の重要性に気付き、少しずつ論文にできるようにした。それも関先生から教えられたことであるが、ガリ版の「あとがき」などに書いたのは東京の学者から盗まれるから、論文は必ず五枚以上、署名して残しておくようにと教えられたのだった。

夕鶴の里特別研究員 武田正



平成25年度夕鶴の里事業

- ☆ 社会人力育成山形講座 6月～7月の4日間 (語り部育成事業)
- ☆ 第14回語り部養成講座 6月～9月第1・3土曜日
- ☆ 第4回おきたま語りフェスティバル 6月23日(日)
- ☆ 第11回民話の語り駅伝 7月7日(日)
- ☆ 第15回子どもまつり 9月29日(日)
- ☆ 第14回民話まつり 10月6日(日)
- ☆ 昔のあそび体験 5・7・9・11・1月の第4土曜日
- ☆ 蚕の飼育事業 6月10日～30日
- ☆ 染め織り体験事業(4回) 7月～
- ☆ ふるさと講座



語り部養成講座

受講生募集!

◆日時◆

6月～9月の第1・3土曜日
午後1時30分～3時
(全8回)

◆場所◆ 夕鶴の里

◆対象者◆ 民話に興味のある初心者の方

◆参加料◆ 無料

◆締切り◆ 5月17日(金)

◆問合せ◆

夕鶴の里 47-5800

